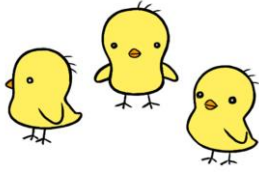


# ひよこだより



東京都立大塚ろう学校  
乳幼児教育相談  
令和元年5月 No.2

## 「きっかけ作り」の親子活動

5月1日、「平成」から「令和」に改元されました。ひよこ・ことりぐみのお子さんたちは、正に「令和」をという新しい時代を担っていく主役です。逞しく、また、しなやかな心で周りの人々と関わり合い、豊かなコミュニケーションをとおして成長して欲しいと願っています。



さて、ひよこぐみでは、早速グループ活動が始まりました。0歳児グループは2週間に1回、1歳児グループそして2歳児グループは週1回行われます。どのグループでも、お子さんの良きロールモデルである「ろうの先生」が一緒に活動します。

0歳児グループでは、親子体操をしたり、ろうの先生から家庭でお子さんに関わるときに使う手話を習ったりします。そして、たっぷりと時間をとって懇談会を行います。保護者の皆様からの多岐にわたる質問（聞こえない・聞こえにくいことに関する事、子育て全般について等）に担当者や保護者の皆様同士で答えたり、ろうの先生から貴重な話を伺ったりします。

そして、1歳児グループ・2歳児グループになると、前半は親子活動を行います。メインの活動は、季節に因んだこと（こどもの日、七夕、いもほり、節分、ひなまつり等）保護者の皆様からのリクエスト（今までの例：外遊び、お料理、お散歩）などをテーマに行います。毎月のお誕生日会もグループ活動の中で経験します。ひよこぐみで初めて遊んだり、作ったり、食べたりした事・物が大好きになって、お家でも繰り返して楽しんでいるというお子さんも多いとお聞きしています。また、2歳児グループでは、秋ごろから「名前呼び」の活動も行っています。名前を呼ばれて自分の名前カードをホワイトボードに貼る姿は、とても可愛らしいです。

0歳児グループから1歳児グループになると、お母さん・お父さんと一緒に、お子さん自身も活動する親子活動が始まるので、「楽しみな半面『大丈夫かな?』と少し心配です。」という保護者の方もいらっしゃいます。

大丈夫です。親子活動は、お子さんに何かを習得させる場ではありません。お子さんが生活のほとんどを過ごす「家庭での日々」の中に、親子のやりとりを深めたり広げたりする「きっかけ」を作る…それが、ひよこぐみの親子活動なのです。

例えば1歳児グループでは、先日、こいのぼりを作りました。お花紙(薄くて柔らかい紙素材)をビニール袋に入れ、目と尾びれを貼って完成という、ごく簡単な工作です。

その活動の中で、こいのぼりの「目」が大好きになったお子さんがいました。2つの「目」はこいのぼりに貼らずに、ずっと自分で持っています。お母さんは、無理に貼らせることはなさらず、「目だね。〇〇ちゃんにも目があるね。」「ママの目はここよ。」と、お子さんの好きなことに寄り添い、楽しそうにやりとりしていらっしやいました。その後、ホールでこいのぼりを持って遊んだときも、そのお子さんは、自分でしっかり握っている「目」と、お母さんがフワフワと泳がせてくれるこいのぼりを交互に見て、満たされた表情をしていました。

この日のメイン活動は「こいのぼり作り」としていましたが、決して作品を完成させることが目的ではありません。活動をとおして、お子さんに寄り添うこと、親子で共感すること、お子さんに分かるコミュニケーション方法を工夫すること等を考え、家庭にもち帰って活かしていただくことこそが親子活動のねらいなのです。

こいのぼりの「目」が大好きになったのだったら、これはチャンス!と、こいのぼりの「目」から派生して他の生き物の「目」を探してみたり、身体名称への気付きに発展させたりと、お子さんの「今、好きなこと・気持ちが向いていること」を大切に、やりとりを楽しんでいただければ、とても嬉しく思います。

ですから、親子活動では、それぞれのお子さんとお母さん・お父さんならではの「やりとり」に、どんどんチャレンジしていただきたいのです。少々上手くいかなくても心配ありません。グループには、同い年のお子さんをもつ保護者の方々がいらっしやいます。他の親子のやりとりを見ることで新たな気付きも得られるでしょう。そして、聞こえない・聞こえにくいという立場からアドバイスしてくれる「ろうの先生」がいます。活動の中で個別にアドバイスをしてくれたり、伝え方や関わり方の見本をみせてくれたりします。

また、1歳児グループ・2歳児グループでも、約1時間の懇談会を設けています。グループ活動の中でも、懇談会は最も重要な位置付けとなっています。その日の活動を、学校の何十倍もの時間を過ごす「家庭での日々」へつなぐ役割があるからです。活動に関することはもちろん、日常の中でふと気になったことも遠慮なく話題にしてください。懇談会に参加しているメンバー皆で考えたり、意見を交換したり、思いを分かち合ったりしましょう。

今後もそれぞれのグループ活動では様々な「きっかけ作り」の活動を予定しています。ぜひ、保護者の皆様御自身にも楽しんで御参加いただければと思っております。お待ちしております。

(文責：神谷)

